

男女共同参画講座開催

「歌謡曲」から見えてくる女と男

ー人生100年時代、♪待つわ〜♪で大丈夫？ー

6月24日（土）、尾張旭市渋川福祉センターにおいて、愛知淑徳大学講師中島美幸さんによる男女共同参画講座『「歌謡曲」から見えてくる女と男ー人生100年時代、♪待つわ〜♪で大丈夫？ー』を開催しました。

1970年代の「一億総中流」時代から、バブル崩壊、現在までの時代の流れとともに、歌謡曲の歌詞やCM、また流行語が変化していったことについて、笑いを取り入れながら説明されました。

また、他の先進国と比べて、日本は男女平等の意識が遅れており、大人が子どもたちに対し、知らず知らずのうちに性差の「偏り」を持って接していることが、子どもの自信喪失につながっていると指摘されました。



講師 中島美幸さん

アンケートの感想から（抜粋）

- ・おもしろかった！見方を変えたら、気付くことがたくさんあること教えられました。
- ・もう一度自分の生活を見直すきっかけをいただきました。
- ・色々と考えさせられました。様々な事例をお聞きすることができ、とても有意義で良かったです。



男女共同参画週間（6/23～29） に啓発を実施！！

毎年6月23日から29日までの1週間は、男女共同参画週間です。尾張旭市でも、男女共同参画への理解を深めるため、様々な取組を実施しました。

★懸垂幕・のぼり旗掲示

尾張旭駅南北壁面に懸垂幕を、市役所正門・体育館南側・図書館玄関にのぼり旗を設置しました。

★尾張旭市立図書館 ミニ特集コーナー

図書館ロビーに特集コーナーを設置し、男女共同参画関連の書籍を展示しました。

★パネル展示

市役所ロビーにおいて、パネル展示やシールアンケートを実施しました。

尾張旭駅壁面の懸垂幕 ▶



ジェンダーって なんだろう？

ジェンダーとは、**性や性別に関する社会的・文化的に構築された知識や意識**のことで、性別を考える時の基準(概念)として、私たちは無意識のうちにジェンダー意識を持っています。

例えば、『男は泣くな』『女性は愛嬌、気配り』など…。

ジェンダー意識は一人ひとり異なり、また時代や社会によっても変わってきます。

自分が持つジェンダー意識によって、固定的な性役割や性差別をしてしまっていないか、振り返ってみましょう。

